

義務教育指導要領

NO. 3

■「私たちの道徳」特集号



- ・「私たちの道徳」を効果的に活用しましょう！
- ・運動前の水分補給で熱中症を防ぎましょう！

北海道教育庁渡島教育局教育支援課義務教育指導班

函館市美原4丁目6-16 TEL0138-47-9587

「私たちの道徳」を効果的に活用しましょう！

「私たちの道徳」は、児童生徒が道徳的価値や規範意識について自ら考え、行動できるようになることをねらいとした内容になるよう、これまでの「心のノート」を全面改訂したものです。従来の「心のノート」にあった感じたことや考えたことを書き込めるようにするなどのよい面は生かし、道徳の時間の授業でより活用しやすくなるよう工夫しています。

「私たちの道徳」の特徴として、次の3点が挙げられます。

- ①道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また、家庭や地域においても活用することができる。
- ②学習指導要領に示す道徳の内容項目ごとに「読み物部分」と「書き込み部分」とで構成されている。
- ③先人等の名言、偉人や著名人の生き方に関する内容を多く取り上げるとともに、いじめの問題への対応や我が国の伝統と文化、情報モラルに関する内容などの充実が図られている。

「私たちの道徳」は、家庭に持ち帰って家族と一緒に話し合うなど、家庭や地域での活用や、児童生徒の自主的な活用もねらいとしており、学校に備え置くのではなく、児童生徒一人一人がいつでも自分の考えを深めることができるようにした教材です。

各学校では、家庭、地域での活用や児童生徒の主体的な活用が促されるよう一層の工夫をお願いします。

渡島管内の児童生徒の自尊意識や規範意識は？

平成25年度全国学力・学習状況等調査児童生徒質問紙の結果から、児童生徒の自尊意識、規範意識に課題がある状況がうかがえます。

質 問	小学校6年生	中学校3年生
自分には、よいところがあると思う	31. 0	22. 1
学校のきまり（規則）を守っている	42. 4	54. 5
近所の人にあいさつをする	63. 1	50. 5
友達との約束を守っている	61. 1	64. 2
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	66. 9	70. 6
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	81. 2	72. 9
人の役に立つ人間になりたい	70. 8	68. 2
友達が悪いことをしたときは注意する	31. 3	23. 7

※数値は、各設問において「そう思う」と回答した児童生徒の割合（％）です。

「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合は、小学校6年生でおよそ3割、中学校3年生でおよそ2割にとどまっています。

また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合は、小学校6年生で8割、中学校3年生の7割にとどまっています。

友達との関わりを考える～いじめの未然防止に向けて～【小学校 1・2 年】

いじめに正面から向き合う内容や、善悪の判断、信頼・友情、規範意識、公正・公平などの内容が位置付けられています

【小学校 1・2 年】

「およげない りすさん」(P78)

「しては ならない ことが あるよ」(P42)

【小学校 3・4 年】

「同じ仲間だから」(P76)

「みんなが守らなくては いけない きまりがある」(P128)

【小学校 5・6 年】

「愛の日記」(P136)

「いじめている きみへ」(P135)

【中学校】

「いじめ撲滅宣言」(P165)

「あなたの身近にいじめはありますか」(P230)

＜活用のアイデア例＞

「はしの上のおおかみ」(小学校 1・2 年 P70)

道徳の時間に読み聞かせて、相手の気持ちを考えずに行動することと、相手の気持ちを考えて行動することの違いを考えさせるような活用が考えられます。

また、展開で、おおかみの行動をもとに自分の行動を考えさせるような活用が考えられます。

はしの上のおおかみ

山の 中の 谷川の 上に、一本ばしが ありました。
長いけれど、せまい はしです。一人しか わたれません。
ある 朝の ことでした。
うさぎが はしの まんちまで 来ました。
けれど、そこで びっくりして、足を 止めました。
むこうから、おおかみが わたつて きたのです。
「こら、こら。」
ど、おおかみは うさぎを にらみつけました。
「おれが わたつて きたのに、気が つかなかったのか。
ぼんやり うさぎめ、もどれ もどれ。」
おおかみに どなられて、うさぎは、もどつて いきました。



70

感じたことや考えたことを文字で表現～書き込みページの活用～

【小学校 3・4 年】

自分が感じたこと、考えたことを書き込み、自分自身を振り返ったり、家族に考えを書き込んでもらったりすることができます。

【小学校 1・2 年】

「きそく 正しく 気もちの よい 毎日を」(P15)

「すがすがしい 心で」(P110)

【小学校 3・4 年】

「礼ぎ名人を目指そう」(P59)

「学校や学級でみんなのためにできること」(P132)

【小学校 5・6 年】

「自分の良い所を見付けよう」(P51)

「大切な家族を思って…」(P159)

【中学校】

「今の私 中 1 の自分」(P5)

「道徳の時間に感じたこと、考えたこと」(P238)

＜活用のアイデア例＞

「目標をもってチャレンジしてみよう」(小学校 3・4 年 P24)

道徳の時間の終末に、目標や目標に向けた気持ちを記入するとともに、一言がんばり日記をつけることで、目標に達成への意欲を高めるよう活用することができます。

一言がんばり日記			目標を立てた理由	目標
月	月	月		
日	日	日		
月	月	月		
日	日	日		

目標をもってチャレンジしてみよう

目標や目標を立てた理由、目標に向かってがんばっているときの気持ちを書きましょう。

三年

四年

スタート

24

情報モラルの在り方を考える～社会の情報化に対応する～

【小学校 5・6 年】

コンピュータや携帯電話等の急速な普及等による社会の情報化の進展に対応し、情報モラルに関する内容を充実させています。

【小学校 3・4 年】

「少しだけなら」(P16)

「コンピュータや携帯電話をどのように使えばよいのでしょうか」(P170)

【小学校 5・6 年】

「知らない間の出来事」(P76)

「相手に思いを伝えたはずなのに…」(P64)

【中学校】

「言葉の向こうに」(P78)

「考えよう情報社会の光と影」(P226)

<活用のアイディア例>

「情報社会に生きる私たち」(小学校 5・6 年 P184)

インターネットの使い方について学習した後、情報機器の利点だけでなく、よりよい活用に向けて気を付けることを考えさせるために活用することができます。

情報社会に生きる私たち

コンピュータや携帯電話などの情報機器は、便利なものですが、使い方によっては、危険やトラブルを招くこともあります。また、直接会って伝えないと気持ちや伝わりません。情報機器は、使い方をよく考えて使うことが大切です。

パソコン

キーボードを入れる、授業で出てきた人物や歴史のことを調べることができます。



携帯電話・スマートフォン

遠くにいる友達と、電話やメールでやり取りできます。



ゲーム・タブレットなど

オンラインで、他の人と一緒に遊んだり、電子教材を使ったりします。



184

自分の在り方や生き方を考える～自尊感情を高めるために～【中学校】

自分のよいところを見つけ、将来の目標をもつことについて考えることができるよう、偉人や著名人の生き方に関する内容を多く取り上げています。

【小学校 1・2 年】

「小さな どの つみかさねー二宮金次郎」(P28)

「虫が 大すきーアンリ・ファブル」(P106)

【小学校 3・4 年】

「きっとできる」(P26)

「人生の先ばいに学ぼう」(P48)

【小学校 5・6 年】

「希望と勇気が夢に近づく力になる」(P18)

「天からの手紙」(P46)

【中学校】

・column 人物探訪

・saying この人のひと言

<活用のアイディア例>

「内なる敵」(中学校 P18)

「私たちの道徳 中学校」には先人、偉人、著名人のメッセージや格言などが豊富に盛り込まれています。

目標に向けて努力した著名人を中心資料として扱った後に、P18 のメッセージを取り上げ、目標を立てることの大切さについて考えるよう活用することができます。

また、自分の夢の実現に役立つ言葉を見付けるといった活動も考えられます。

理想通りにいかない現実もある

目標の実現に向けた道のりは決して平坦ではない。
例えば、
自分なりに努力したつもりでも、うまいかないこともある。
各分野の第一線で活躍する人たちは、同じように苦い経験や挫折を味わいながら、それを乗り越えてきた。
優雅に泳ぐ白鳥は、水面下で懸命に水をかいているのだ。



「内なる敵」
困難を乗り越えながら訓練を続ける宇宙飛行士南波六太。
「じゃあ、君には敵はいないと……」
という問い掛けに、一言一言かみしめるように答えた。
自分の夢を敵々邪魔して、足を引っ張り続けたのは、結局自分であったことを振り返る。



© 小山田隆 / 講談社

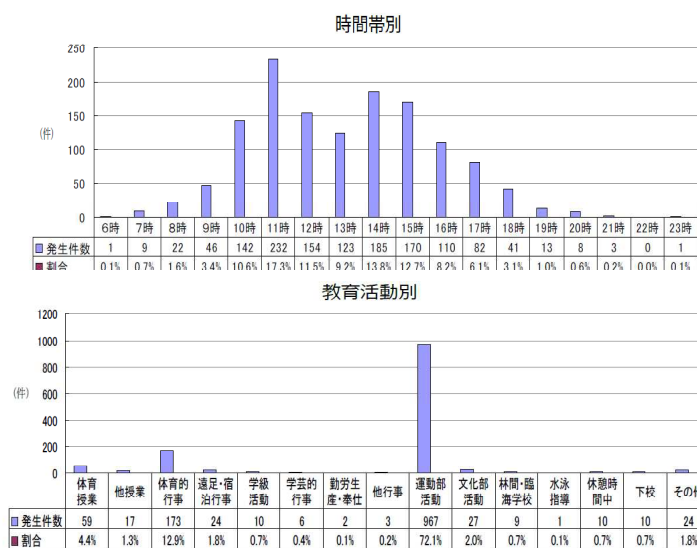
18

運動前の水分補給で熱中症を防ぎましょう！

子どもの一日の生活を見ると、10時から11時、14時から15時の時間帯に熱中症が多く発生しています。

また、体育・スポーツ活動中の熱中症の発生件数が全体の約9割を占めているというデータもあります。

休み時間や昼休み、体育の授業、部活動など運動を行う前後には、十分に水分を補給をさせることが大切です。



(グラフ：「体育・スポーツ活動中の熱中症予防マニュアル」東京都教育委員会)

熱中症などの未然防止に向けて運動前に体調チェック！

○活動前の体調チェック！

- | | |
|---|--|
| ☐ ・睡眠が不足していませんか。 | ☐ ・朝食は食べましたか。 |
| ☐ ・熱はありませんか。 | ☐ ・のどが痛くありませんか。 |
| ☐ ・風邪をひいていませんか。 | ☐ ・お腹が下っていませんか。 |

○子どもの特性チェック！

- | | |
|--|---|
| ☐ ・運動経験は多いほうでしょうか、少ないほうでしょうか。 | ☐ ・肥満傾向や痩せすぎではありませんか。 |
| ☐ ・体力は十分でしょうか。 | ☐ ・過去に熱中症を経験したことはありませんか。 |

○環境チェック！

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ ・急に暑くなっていますか。 | ☐ ・蒸し暑くありませんか。 |
|--|---------------------------------------|

(参考：「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」日本体育協会)

ひとつでも当てはまるものがあれば、運動量を減らしたり、普段以上に活動の様子に気を付けたりすることが大切です！

スポーツ活動中の熱中症予防5ヶ条

- ① 暑いとき、無理な運動は事故のもと
- ② 急な暑さに要注意
- ③ 失われる水と塩分を取り戻そう
- ④ 薄着スタイルでさわやかに
- ⑤ 体調不良は事故のもと

(参考：「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」日本体育協会)